

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第1学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く学習では、言葉を理解する力や言葉を使って相手に伝える力に偏りがある。 ・短い分を書く際、拗音や促音、「は・を・へ」などを使っての学習では、正しい使い方に課題が見られた。 ・音読をする際、読み飛ばしや読み間違いがある児童が約3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活で使う言葉の意味を確認したり、例や具体物を用いたりして語彙力を増やす活動を習慣化する。(学期中70%) ・拗音や促音のつく言葉集めをしたり、文章を書く活動を多く取り入れ、正しく意識して文を書くよう指導する。(発言、学習カード、毎時間80%) ・範読や、音読を毎時間の授業で行い、繰り返し聞くことと読むことの量を増やす。(ノート、ワークシート学期中70%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・9割の児童は、10の構成・分解は定着している。 ・文章題では、立式をする際に足し算か引き算かを判断することに課題が見られる児童が約3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・計算ブロックを動かしたり図で表したりしながら、数の増減について視覚的に捉えさせる場面を増やし、数の様子を想像する力を身に付けさせる。(発言学期中70%) ・文章中の言葉に注目させ、意味と場面をつなげて考えられるように繰り返し指導することで、全員の児童への定着を目指す。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員が楽しく体を動かし、学習に意欲的に取り組むことができている。 ・体力テストの結果により、上体起こしのと反復横跳びの平均値が東京都の平均値より下回っており、敏捷性と筋持久力に課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人の体力的目標をもって運動に取り組んだり振り返ったりできるよう授業や環境を意図的に設定する。目標を達成するための手立てを多様に準備して、粘り強く自分の課題に取り組めるようにする。(体育の時間, 毎回) |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・水や砂、植物などの自然と振れ合う機会が少ない児童が約2割いる。 ・観察カードの作成では、観察したことや活動についての絵や文章で具体的に表すことに課題が見られる児童が約3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑の影響で、校庭での活動の制限が多くあったので、2学期以降、外での自然と触れる活動や植物のお世話などを計画していく。(学期中3回) ・絵に描いたり、言葉で表したりする活動では、具体物と触れて形を捉えたり、児童から出てくる言葉を例として示したりして、見たことや思ったことを表現できる児童を約9割にする。 |

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第2学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・「わ」と「は」、「お」と「を」の助詞の使い方に課題が見られる児童が1割程度いる。 ・カタカナの正しい使い方に課題が見られる児童が2割程度いる。 ・自分の思ったことや考えを記述することに課題のある児童がいる。 ・漢字を書くことに意欲関心が高い児童が半数以上いる一方、書き順や止め、はね、はらいの基本的な技能の定着に課題が見られる。 ・文章の記述では、まとまりのある文章を書いたり原稿用紙の書き方を正しくしたりすることに課題が見られる児童が3割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・助詞を中心に書く学習を頻繁に取り組ませ、まとまりのある文章を書く。(ノート・テストを週に1回程度) ・書き順や止め、はね、はらいの基本的な技能の定着を図るため、小テストや単元テスト、毎日の宿題で丁寧な指導を繰り返す。(テスト、学期中80%) ・進出漢字の定着を図るため朝学習で取り入れ、間違いやすいところや意味の確認をする。宿題で復習をすることを日常化する。(漢字ドリル、らくらくノート、ミニテスト、学期中90%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し上がりや繰り返し下がり計算では、小さなミスから誤った解答をしてしまう児童が3割程度見られる。 ・文章問題では、数の大小を誤って捉えて計算してしまうことに課題が見られる児童が1割程度いる。 ・定規を使って直線を引くことに課題が見られる児童が2割程度いる。 ・計算問題を解くスピードが上がった反面、筆算の書き方が煩雑になったり不足があったりする児童が2割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれが時計やブロックで操作をして確かめることができる活動を時間を設定する。(各単元総時間の3分の1以上) ・自分の考えを絵や図や表などを活用して表し、演算の決定や答え方について自信がもてるように言語化をさせる。練習問題や宿題で同じような流れで自力で解ける問題を選んで出す。(問題3問以上) ・問題文をよく読み、内容について適切に答えられるように指導を繰り返し行う。(テスト・ノート、学期中80%) |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動技能を習得している児童が多く、大変意欲的である。 ・授業だけでなく、休み時間にも体を動かすことが好きな児童が多い。 ・体力テストの結果から、柔軟性に課題が見られる児童が2割程度いる。 ・走ることが好きな児童が大半を占め、特に鬼遊びを楽しんでいる。 ・マット運動では、ほぼ全員が前転ができるが、できない児童にもコツを教え合う様子が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育では、ウォーミングアップとして柔軟運動に積極的に取り組む。(毎時間2種類以上) ・技能面を高めるため、自分の振り返りから次への課題を見つけるように声掛けしたり、相手の動きの良いところを見つけて発表したりする機会を作る。(観察・発言、学期中80%) |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の体の仕組みや生活の仕方、植物の観察、育てている作物に興味関心が高く、絵や観察カードの学習に積極的に取り組んでいる。 ・観察カードの記録では、様々な角度からじっくり観察し、着眼点を正確に捉えて具体的に記入できている児童が多い。 ・自分たちの住んでいる町や地域のことについての知識に課題が見られる児童が1割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域に興味・関心をもち、仕事や施設について調べ学習や取材を通して学習が深められるよう「町探検」を計画し、気付いたことをまとめたり、すすんで発信したりする環境を整備する。(学期中1回) ・発表ノートを活用し、自分や相手の見つけたことを共有しながら、伝えたいことを整理して書かせる。(観察・発言、学期中80%) ・学習で身に付けた知識を家庭に伝え感想を聞き、より関心を高められるような宿題を取り入れる。(学期1回) |

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第3学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字や言葉を適切に用いて文章を書くことに課題のある児童が半数いる。 段落を意識したり、接続詞を使って文を書いたりすることに課題がある児童が4割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 書いた文章を自分で推敲する時間を毎回設けたり、推敲するときの視点を示したりする。また、児童同士で文を見合う機会も積極的に設ける。(ノート、ワークシート年度末80%) 作文をするときには、毎回モデル文を示し、その時間で特に意識すべき点を明確にしてから学習に取り組むようにする。(ノート、ワークシート学期中70%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりや繰り下がりのある時刻のたし算やひき算、時間の求め方を正確に行うことに課題がある児童が4割弱いる。 長さや大きさの見当をつけるなどの量感が乏しかったり、計算の答えの見当をつけることに課題があったりする児童が4割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 時刻を数直線で表すことを繰り返し指導し、それを活用して時刻や時間を求める学習を重ねる。(ノート、ワークテスト学期中80%) 筆算をするときには、答えの見当をつけることを指導したり、重さや長さを扱う単元では、できるだけ具体物を活用したりする。(ノート、ワークテスト学期中80%) |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 運動に対して熱心に練習する児童が多いが、友達同士で教え合ったり、コツを伝えたりすることに課題がある児童が半数近くいる。 運動に関して思考し、判断し、表現することに課題が見られる児童が3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 技能の習得度合いが近い児童同士でグループを作ったり、運動のコツや見るポイントを提示したりしてお互いにアドバイスしやすいようにする。(発言、学習カード、毎時間・単元の最後80%) 学習を振り返るときの視点を示したり、適切に表現できている児童のワークシートを紹介したりする。(ワークシート、毎単元80%) |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 観察して分かったことを言葉でまとめることに課題がある児童が3割ほどいる。 実験の予想を立てることに課題がある児童が約半数いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 分かったことをまとめる時の話型を提示したり、手本となる児童の文章を紹介したりする。(発言、ワークシート学期中80%) 予想するときの視点として、既習事項や生活経験を想起するよう指導する。話合い活動を取り入れ、自分の考えをもちやすくしたり、新しい視点に触れたりする機会を増やす。(ノート、発言毎学期80%) |

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第4学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を活用する力に課題が見られる。(テスト平均81%) 文章を書いたり、考えを表現したりすることに課題が見られる。(参考:テスト平均75%) | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習において、漢字の意味を知り、例文を作り、漢字を活用した文章を書けるようにしていく。 発表する前に考えを書く時間を設け、安心して意見を発表できるようにする。個別に考え方のヒントや考える道筋を示すなどし、考えをもってから、書くことができるようにする。(ノート・作文・行動観察、学期中80%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 割り算(特に2桁で割る割り算)に課題が見られる。(テスト68%) 資料の読み取りに課題が見られる。(テスト平均62%) | <ul style="list-style-type: none"> 割り算の計算手順を一つずつ確認しながら計算を行わせる。仮の商の立て方を復習し、商の見当をつけた計算に取り組ませる。 グラフや表などに書いてある内容を読み取り、全体で確認する時間を設ける。(テスト・プリント、学期中80%) |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 技能面に二極化の傾向が見られる。 運動に関して思考し、判断し、表現することに課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童が技のポイントなどを視覚的に分かるよう、学習カードや学習掲示の工夫をする。 児童同士で、技能を見合ったりタブレットで動きを確認したりする機会を繰り返し設け、アドバイスを送り合ったり、自分の動きの改善を図れるようにする。ポイントを押さえ、自分の課題に応じた練習方法に取り組む。(学習カード、毎時間・単元の最後80%) |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 知識の定着に課題が見られる。 根拠のある予想を立てることに課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 予想を立てる際に、既習事項を振り返る場面を設け、繰り返し知識の確認を行う。 根拠となる事項を確認する。根拠のある予想を書いた児童を全体で発表させることで、根拠の見付け方を理解できるようにする。(テスト、ノート、行動観察、学期中80%) |

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第5学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字や言葉に関する知識・技能は児童によって定着の差があり、約4割の児童が90%以上の得点を獲得しているのに対し、約3割の児童が60%以下の得点であることから二極化が見られる。 自分で思ったことや感じたことを表現することが苦手な児童が約20%いる。 相手の話を聞くことで、自分の意見をもつことができる児童が約90%いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 進出漢字の定着を図るため朝学習で取り入れ、間違いやすいところや意味の確認をする。宿題で復習をすることを日常化し、授業中のミニテスト(10問)やカラーテストで定着しているか確認する。(漢字ドリル、らくらくノート、ミニテスト、カラーテスト等、学期中90%) 話し合い活動を定期的に取り入れ、司会・記録等の役割分担や組み立てメモの活用を日常回し、自分の考えをもつ時間の確保、相手の話を聞く態度を養う。(行動観察、朝の会「ペアトーク」、学期中90%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 文章題の内容把握、正しい立式を苦手にしてしている児童が多く、テストの平均正答率70%であり、課題が見られる。 小数のわり算や単位量当たりの大きさを求める問題では、筆算を最後までやり切らなかつたり、あまりを正しく求められなかつたりする児童が約3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 問題場面を数直線や図を使って表すことを意識させたり、ペアやグループでの伝え合いを取り入れたりとすることで、確実な定着を図る。(ノート、ホワイトボード、学期中80%) 教科書の練習問題や宿題で取り組む筆算の過程を正しく書くことを繰り返し指導する。文章問題の内容を正しく把握するために、導入時に児童の生活経験を想起させたり、図や絵を用いたりして指導する。(ノート、計算ドリル、計算らくらくノート、学期中80%) |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで運動に取り組む児童は多いが、実技テストの結果から基礎体力や技能面の個人差がある。 学習カードの記録から友達の動きを見て真似したり、良かった友達の動きを記入できる児童が7割程度と少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 領域に応じた学習カードを活用し、自分の課題に合っためあてを設定したり、グループの課題について話し合ったりして、練習計画を立てることができるようにする。(行動観察、タブレット、学習カード、学期中80%) タブレットの動画機能を活用し、どのような練習が必要か調べたり、練習の前後を比較したりするなど、自分に合った練習ができるようにする。(行動観察、学期中80%) |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 実験に関する予想を立てられるが、ノート記録から根拠を立てて予想を立てることについて、自分の考えを記入できている児童は約6割と少ない。 ノート記録から実験の計画を立てる際に、課題に沿っていない計画を立ててしまう児童が約3割いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 予想を立てる場面で、自らの体験したことや今までの授業で学んだことをもとに自分の意見を書けるように指導する。(ノート、発言学期中80%) 実験の計画について、調べて取り組む内容については必要なことだけを書き込めるワークシートを用意したり、全体で内容を精選していく時間を設けたりする。(ワークシート、学期中80%) |

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立神宝小学校 第6学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す) | 具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す) |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字や言葉、工夫した表現を文章等で活用する力に課題が見られる児童が3割程度いる。 全体的に「文章を書く」ということ自体に苦手意識をもつ児童が4割程度いる。自分の考えとその理由を明確にし、組み立てを考えて文章を書くことに課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 間違えやすい箇所を一つ一つ確認しながら漢字の指導を繰り返し、短作文を書く機会を増やす。 様々な場面で文章を書いたり、自分の考えを表現したりする学習を積極的に取り入れ、まず「文章を書くこと」に慣れさせるようにする。国語の「書く」単元では、組み立てメモを丁寧に指導したり、それについてグループで交流して深めさせたりし、文の組み立てを意識した文章を書けるようにしていく。(ノート・作文、学期中80%) |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 5年生までの既習事項(2桁以上の割り算で商を立てる、分数の計算、小数の計算)の習得に課題が見られる児童が3割程度いる。 文章題で内容が読み取れず立式が困難な児童が3割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の学習ごとに5年生までの既習事項を振り返る時間を設け、全体で計算の仕方を思い出せるようにする。 計算プリントを活用し、繰り返し既習の計算練習を重ねる。 問題文の場面を数直線や図を使って表すことを意識した学習を重ねていく。(テスト、学期中80%) |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 走る運動は、男子50m走の平均が9.67秒で、東京都の平均より0.58秒遅い。また、女子50m走の平均が9.72秒で、東京都の平均より0.34秒遅く、平均より遅い児童が4割程度いる。 跳び箱やマットを使う運動では、体を支える力が弱い様子が見られる児童が1割程度いる。 グループでの活動時に、意見を言える児童とそれを聞くだけの児童がおり、グループ内での話合いの内容が乏しい傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 導入時に主運動につながる運動や感覚作り運動などを取り入れ、体を支える力や走る力を付ける。 個人用の学習シートを用意して学びを振り返ったり、めあてを立てて自分が取り組むことを明確にして取り組めるようにしたりする。また、グループでの学習ボード等を活用し、主体的に話合いができるようにする。(行動観察、80%) |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察からどのような結果が見られたかは理解できている児童が2割程度いる一方、学習の目的の理解に課題が見られる児童が1割程度いる。 学習の定着に課題のある児童が1割程度いる。また、問題文を正しく読み取り、答えることに課題の見られる児童が2割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 導入時にめあてを確認し、1時間ごとに何を学ぶのかを全員が理解できるように指導を行う。実験等で、班で取り組むだけでなく個人の時間を設定し、学びを自覚する時間を取り入れる。 学習のまとめの時間に振り返る時間を設定し、「何を学んだのか、どんなことに気付いたのか(知ったのか)」などを書かせ、学んだことを定着させる。 テスト前にプリント等で問題に慣れる時間を設定し、問題で何を聞かれているかを理解できるようにする。(ノート・ワークシート、学期中80%) |